

<h1>2年道徳</h1>	主題名「友達への思いやり」 2－(2) 親切 資料名「ぐみの木と小鳥」
	2年2組 教諭 鈴木 和枝
<1次公開> 5校時 13:30～14:15	

1. 主題設定について

内容項目の特性・特徴

本主題は、道徳の内容2－(2)「幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。」に当たる。身近な人に広く目を向け、誰に対しても温かい心で接し、親切にする事の大切さについて考えを深められるだけでなく、身近にいる人とのふれあいの中で、相手のことを考え、優しく接し、具体的に親切な行動ができるようにする。

主題の分析

親切とは、自分の利害を越えて、相手の身になって考え、助けることである。そのような行為の根底には相手の苦しみや悲しみをどれだけ思いやれるかという共感する力が深く関わってくる。

2年生の児童は、集団生活に慣れ、自分自身のことばかりでなく、他の人へも目を向けられつつある時期なので、困っている人や弱い立場の人を思いやり、温かい心で接し、親切にする事の大切さに気付かせていきたい。

2. 授業改善に向けて

改善1【確かな学びの積み上げがある教材化】

・他の教育活動と関連付ける

2年生に進級してから、生活科や運動会などを通して、1年生との活動をしてきた。これまでの活動をふり返り、今後の1年生との交流によりよくつなげていくよう考えた。

・子どもの思考をゆさぶる資料提示の工夫

小鳥に託して自分の価値感や考えを語らせる。その際に嵐の中、「りすの家へ行こうとする気持ち」と「行かなくてもいいとする気持ち」との間で揺れ動く心に着目できるように、板書を活用して資料を読み進め、嵐の効果音など、興味を持って学習を展開できるよう工夫することで、主人公の気持ちに共感させていきたい。

改善2【わかりをたしかにする3つの場】

・つかむ場

児童の受けた身近な親切について想起させ、ねらいとする価値への方向付けをする。親切にされてうれしかったことについて考えることから問題意識を生み、スムーズに中心資料につなげていきたい。

親切にした経験よりも親切にされてうれしかった経験を想起させる方が、より本時のねらいとする道徳的価値への方向付けることができると考えた。

・わかる場

嵐の場面では、小鳥の気持ちになって考える話し合いになる。嵐の効果音を聞かせることによって、はじめは「嵐でもがんばって行く。」と考えていた子どもたちも「この嵐の中じゃ行けないんじゃないか。」と考え、どちらにするか迷う。そこで子どもの考えにゆさぶりをかけながら、小鳥の気持ちに迫っていききたい。そうすることによって、小鳥の行動に共感し、親切にする事の大切さ

親切にする事の気持ちのよさに気付かせていきたい。

さらに、嵐の中、りすにぐみの実を届ける場面を数名に役割演技をさせ、見ている子たちも小鳥の気持ちをより理解し、その行動の素晴らしさに共感できるようにしたい。

・たしかにする場

1年生と学校探検や、動物園案内をしたときなどの写真を見せ、1年生に親切にしたときのことを想起させ、教師も子ども同士も互いを評価し、これからの意欲につながるような終わり方にしたい。

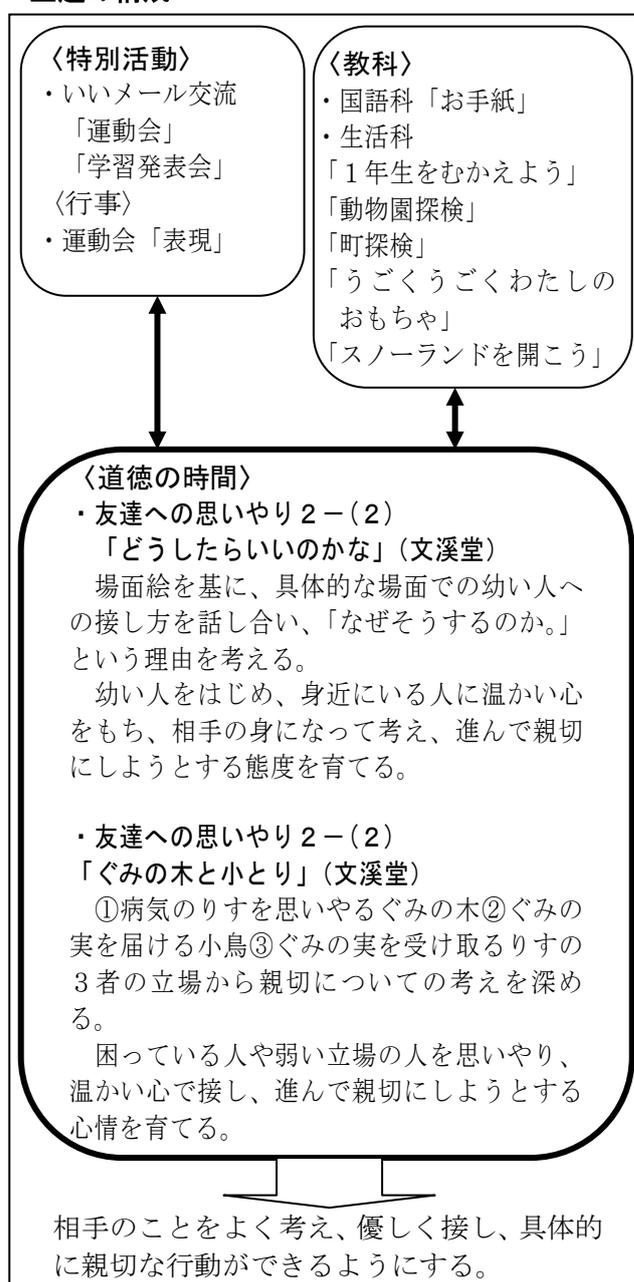
また、一人一人が「今日学んだことのふりかえり」を書き、「親切にするといい気持ちになるね。」「親切っていいな。」と感ずることができるようになることを願っている。

3. 主題構成

・主題のねらい

困っている人や弱い立場の人を思いやり、温かい心で接し、進んで親切にしようとする心情を育てる。

・主題の構成



4. 本時案

本時のねらい		身近にいる幼いや友達などに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。	
場		子どもの意識の流れと学習活動	
つかむ	親切にされてうれしかったことを想起させ、親切とはどういうものかをつかむ。	<p>○親切にされてうれしかったことを話し合う。【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が鉄棒の練習に付き合ってくれた。 ・転んだときに「大丈夫？」と声をかけてくれた。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">親切ってどんなことだろう。</p>	
	わかる	<p>小鳥の葛藤に共感しながら、親切に行動したことのよさ分かる。</p> <p>○ぐみの木からりすの話聞いたときの小鳥の気持ちを考える。【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このごろ来ないの心配。 ・おなかがすいて困っているのかな。 <p>○実を届けたい小鳥の気持ちを考える。【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し元気になってよかったな。 ・明日も届けよう。 <p>○嵐の日の小鳥の気持ちを考える。【話す】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 40%;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">りすのところに行く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日もびょうきでくるしんでいると思う。 ・きっとまっている。 ・あらしなんかまげられない。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 40%;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">嵐だから行けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このあらしじゃ行けない。 ・あらしがやむのをまとう。 ・今日だけがまんして。 </div> </div> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">吟味する交流</p> <p>○ペアになって、役割演技をする。【話す】</p>	
たしかにする	親切に行動することのよさについて感じることができると感じる。	<p>○1年生に優しくしたときや、友達に優しくできたときのことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に動物園に行ったときは、大変だったけれど喜んでくれた。 ・優しくするといふ気持ちになった。 <p style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">親切は気持ちがいいね。これからも、あいての気持ちを考えて、親切にしたいね。</p> <p>○今日の学習を振り返る【書く】</p>	
本時の目指す子どもの姿	登場人物3者に共感しながら、3者に共通する温かい心に気付き、相手の気持ちが理解できるようになる。		

5. 板書計画

